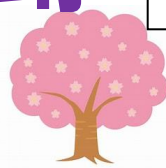


やすらぎ新聞



春号



一般社団法人 尾道市医師会
介護老人保健施設 やすらぎの家
2022年 4月 256号



厳しい寒さに耐える日々も終わり、暖かくなるとともに、あちこちで桜の開花宣言が聞かれるようになってきました。やすらぎの家の近くにも桜並木があり、すべて咲きそろうと圧巻の美しさです。

ご面会の制限がございますのでご来所の機会も少ないかと思いますが、近くを通られる際は是非ご堪能下さい。

サクランボの花 満開

こちらは同じ桜でも、サクランボの実が生る西洋実桜です。室内に飾っているので、外の樹よりも早く満開になりました。実を食べることはあっても、お花を見ることはないので、貴重な経験をさせていただきました。

ご利用者の皆様も「きれいじゃね」「実が生ったら食べたいね」などお話をされていました。やはり、実が生るものは楽しみが多くて良いですね。



～衣替えのお願い～

朝晩はまだまだ肌寒いですが、日中は暖かくなってきました。それに伴い、お持ちの衣類のご確認をお願いいたします。

この時期は寒暖差がありますので、なるべく調整しやすい衣類を多めにお持ち下さればと思います。

なお、衣類にはお名前の記入もお願いいたします。





やすらぎ神社参拝

今年もやすらぎ神社をお祀りしました。

元旦を迎えると、いつでも参拝出来るように
お賽銭を準備されているご利用者様もおられました。
手を合わせて一生懸命お祈りをされ、おみくじの
結果に満面の笑みを浮かべられていました。



節分会

2月上旬、のぞみ棟、ひかり棟、通所
リハビリ各部署に分かれて節分会を行いました。
赤鬼や青鬼が登場したり、プロジェクターを使用
した節分クイズ、鬼退治に見立てたゲームなど
各部署で工夫をこらして行いました。皆様、
力いっぱい鬼退治をされていました。



ひな祭り会

「明かりをつけましょ、ぼんぼりに〜♪」
の歌が有名な桃の節句（ひな祭り）ですね。
やすらぎの家でも、各部署にてひな祭り会を開催しました。
ご利用者様や職員がお内裏様とおひな様の衣装を着て
写真に収めました。
皆様とてもよくお似合いました。



創作活動紹介

通所リハビリでは、ご利用者様と一緒に作品
作りに取り組みましたので、紹介させていただきます。
『靴下の生産途中で出る切り屑で作品』とい
う事で、切り屑を指編みで編みコースターや
マットを作成しました。



靴下の切り屑の説明を行い指編みの方法を伝え、色の選定を行い、
難しい時には職員の指を輪っかの中に入れて補佐を行い一緒に作り
上げました。

作成に取り組みましたご利用者様は「目が見えにくく編み物は昔
行っていたが最近では出来なくなっていた。これなら太くてわかりや
すくていい。楽しくなりまた行いたいと思った。」
と感想を頂きました。



新しい制服になりました！

新年度が始まり、新しい環境に変わった方も多いのではないのでしょうか。やすらぎの家では制服を一新しましたのでご紹介致します。これまでと違い、職員数の最も多い介護は男性と女性で異なる制服になりました。新しい制服に袖を通すと、気持ちまで新しくなったように感じます。今年度もこれまで以上に、フレッシュな気持ちで毎日の業務に取り組んでいきたいと思います。

看護



介護



療法士



支援相談員



営繕



栄養士&事務



編集後記

広島県のまん延防止等重点措置も終了し、いつもより長く感じた冬が終わり春の陽光が差ししてきました。街中では観光客も戻りつつあるようで、自転車に乗った若い方を多く見かけるようになりました。しかし尾道市のコロナ感染状況は感染者数のみを取り上げれば特に減少している様子も無く、引き続き注意が必要な状況です。今年度こそ、安心して過ごせる日々が戻って来る事を祈りたいですね。

発行：一般社団法人 尾道市医師会
介護老人保健施設 やすらぎの家
住所：〒722-0042
尾道市久保町 1718(尾道ふくしむら内)
TEL：(0848)20-7150
FAX：(0848)20-7152
編集者：村上麻衣子 鶴舎重宏 上杉健
田口雅代 中尾美貴
岡野尚美 山下幸

監修／豊田眞子